

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」稲田堤校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を通して、利用者様一人ひとりの個性や良さを伸ばしてもらえるようなサポートが行える。	利用者様本人の意思を尊重したサービスを提供する為、適宜利用者様やご家族への聞き取りを行っています。発語が少なかったり、意思疎通が難しかったりする場合には、表情や様子からアセスメントを行っています。	より丁寧なサポートを行っていく為に、定期的な面談を実施し、利用者様や保護者様のニーズの把握を行っています。必要に応じて、通っている園や他事業所との連絡を行い、利用者様についての共通理解を図るようにしています。
2	長期休暇等の期間には、年齢を問わず楽しめるイベントやワークショップを開催している。	職員研修を行ったり、講師を招いたりしながら、開催するイベントやワークショップの充実を図っています。	通っている利用者様の興味関心を把握し、より楽しめる内容を計画していきます。
3	地域の関係機関(幼稚園・保育園・学校等)との繋がりを大切にしている。	定期的な訪問や、ケース会議に出席することで、利用者様の状況の把握を適切に行えるようにしています。	地域との連携を充実させていけるように、日々の情報共有や訪問等の機会を増やしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族の対応力向上の為のペアレントトレーニングや、ご家族が参加できる研修の場の設定及び情報提供。	保護者様向けの研修情報の提供(チラシやSNS等)は行っていますが、事業所として保護者様に対するペアレントトレーニングは十分に行うことができていません。	ペアレントトレーニングを目的とする研修を定期的に計画し、保護者様へのサポート体制も整えていきたいと考えています。
2	教室内での活動が中心となる為、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	個別支援を行う教室になる為、地域の子どもたちと関わる機会が少ない状況となっています。園が終わった後に通室してもらっている為、地域の交流の場に行くことが難しい状況となっています。	地域の子どもたちを教室に招き、利用者様と交流できるような行事を開催できないか検討していきます。
3	父母会、保護者会等の開催頻度が少ないことにより、保護者同士の交流機会が少ない。	年間のスケジュールの中で、父母やきょうだいが参加する行事が少ない状況となっています。	保護者様やきょうだいが自然と交流できる場所や行事等を定期的に計画していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」稲田堤校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2025年 1月 31日

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		利用者様の状況に応じて、活動スペースを適宜調整するようにしています。(粗大運動・創作活動等)
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0		利用者様に安心して過ごしてもらえるように、職員配置を調整します。職員の専門性を高められるように、今後も積極的に研修等に参加し、期待に添えるよう努めていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3	0	2	・バリアフリーではない。	スロープ等はありませんが、教室内は利用者様が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、支援スペースの安全面への配慮等)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		日々、清掃や消毒を徹底しています。感染症が流行している時期には、こまめに消毒をしたり、換気を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0	・本人の気持ちを理解して代弁したり、本人に合わせて声掛けをしたりしてくれました。	・利用者様の意思を丁寧に受け止め、可能な限り理解できるように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	1	0	・本人の意思に基づいた活動になる為、活動内容が固定化されている。	利用者様一人ひとりの思いを尊重した支援内容を検討しています。利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	0	5	1	・事業所を通じて、地域の他の児童と交流する機会はなかった。	交流は行っていませんが、保護者様や園からの要望があった際には、幼稚園や保育園等への訪問や見学を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	3	5		支援後の保護者様との振り返りや事業所内相談などを通じて、家族支援を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		利用者様の支援時の様子をお伝えできるように努めています。(口頭・LINE等)成長や変化に関しては、良さの観点からお伝えできるように心がけています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		定期的な面談を実施しています。ご家庭の要望がある際には、当日でも対応できるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	4	・兄弟も一緒に活動させてくれるので、ありがたい。	保護者会や座談会等だけでなく、イベントなどの機会を設けていき、交流を行ってもらえるように計画していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	5		教室内の掲示板や、インスタグラム、LINE等を用いて、教室の活動の様子が伝わりやすいように工夫をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	4	・ヘルメットや非常ベルがあることは知っている。	策定したマニュアルをもとに、定期的に各種訓練を実施し、計画書や実施記録等を保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	5		災害に備え、定期的に避難訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	3		非常時の対応、ケガや事故等が起きた場合の対応につきましては、契約時に説明してご了承いただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	・本人が落ち着ける場所になっている。	利用者様が安心して過ごすことのできるように、一人ひとりに合った環境を今後も整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	・教室に行くかを聞くと、嬉しそうに「行く。」と返事をしてくれる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	・満足している。	利用者様、保護者様のニーズにお応えできるように、今後も一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心掛けていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」稲田堤校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		バーテーションやカーテン、掲示物を用いて、支援スペースを明確化しています。十分なスペースを確保する為、一度に利用する人数の調整を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者様が安全に活動できるように、適切な人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口にスロープ等はありませんが、教室内は利用者様が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、支援スペースの安全面への配慮等)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員だけでなく、利用者様及びご家族様の検温・手洗い・アルコール消毒にご協力いただいています。定期的な換気も実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			職員全体での打ち合わせや会議を行い、業務改善を図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、集計結果をもとに、業務改善を図っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後は、第三者からの評価をもとにした業務改善を図っていけるよう検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に各種研修に参加し、職員全体の支援の質の向上を図っていけるよう取り組んでいます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		一定期間ごとにアセスメントシートをチェックし、成長の段階に応じて個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に基づいた、サービスを提供しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		教室全体で利用者様の支援を行えるよう、日々情報の共有を心がけています。	利用者様一人ひとりの支援プログラムを教室全体で立案できるよう、検討する場を適宜設定していきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	利用者様一人ひとりの思いを尊重した支援内容を検討しています。 利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	利用者様のニーズに合わせて、個別と集団での活動が行えるよう、計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	必要に応じてミーティングを行い、支援の振り返りや、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日の支援の記録を残し、利用者様の情報を教室全体で共有できるように努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月(必要に応じて期間の短縮をすることも有り)ごとに、利用者様の状況に応じて、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	利用者様の通う園との定期的に連携をし、情報共有を行っています。 利用者様の園での様子を把握したうえで、教室でできるサポートを検討しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援を希望される方を対象に、関係機関との連携を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援を希望される方を対象に、関係機関との連携を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		現在実施はできていませんが、今後は地域での連携を深めていきたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在行っていませんが、今後は地域との交流の場を増やしていけたらと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様からの相談を随時受け付けています。 ご家庭でも実践できるような支援や子育て方法等についても、利用者様に合わせてご提案させて頂いています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		分かりやすい説明を行うように努めています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様、保護者様の思いを丁寧に聞き取る時間を設けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		ガイドラインの指針及び、利用者様のより良い成長を目的とした個別支援計画を作成し、承諾のサインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		利用者様の成長に合わせて、子育てに関しての助言や相談支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様の交流の場として、今後は保護者会や座談会等を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			ご要望に合わせて、速やかに対応できるよう、心がけています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			校舎内の掲示板やインスタグラム、教室LINE等を用いて、活動の様子が分かるようにしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。 個人情報にアクセスできる端末に関しては、パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			利用者様・保護者様の状況に応じて、ICTやその他の視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域から有志の方を招いて、折り紙教室を開催しています。今後も地域の方との交流を深めていけるような行事等を検討しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			教室で実施した訓練の様子を、インスタグラム等を通じて発信したり、閲覧書類として手に取れるように設置したりしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			災害に備え、定期的に各種訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			服薬をしている場合には、事前に確認を行い、行動や体調面を注意して見守るようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				該当無し
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			都度ヒヤリハットの記録を作成し、保管しています。 職員間で情報を共有し、同様の事象が発生しないよう、改善に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			人権擁護・虐待防止等に関する研修に定期的に参加しています。研修で学んだことを、職員全体で共有できるように徹底しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			利用者様の安全を確保するという観点から、行動の制止や制限等を行う可能性はあることをご説明し、同意を得ています。